

# 「爆弾低気圧」村を直撃

## 被害額は6億6051万円に

### 1時間 に56ミリの雨量 村内各地で被害続出



沢山川が溢れ国道45号が冠水 (27日、15:24)



堀内大橋の南側から地滑り。土砂が沢川をふさぎ沢漁港付近は大被害に (28日、13:45)



堀内では裏山から大木が流れ込み民家を破壊 (28日、13:28)

### 大雨と暴風に パニック状態

12月27日朝、県内は発達した低気圧が接近し、沿岸と内陸南部を中心に強い風雨に見舞われ被害が続出。村でも道路などの土木施設を中心に被害額は6億6051万円(1月10日午後5時現在・村調べ)に達しました。

26日未明から降り出した雨は27日午前10時までに223ミリの観測。午前11時には1時間に56ミリの爆弾のような激しい雨が約4時間降り続きました。正午すぎには村内の至る所で、河川のはらんや土砂崩れなどが相次ぎ、道路は寸断、情報連絡無線での避難放送も暴風雨に打ち消されるなど、被害が広がるにつれ村はパニック状態になりました。

「時間雨量が多すぎ。これでは排水が間に合わない」と土木担当も言うほど雨は強く激しく、午後12時10分には旭日区、中央区、緑区の3地区39世帯、117人に避難勧告を発令。午後4時25分には解除されました。幸い人的被害はありませんでした。